

日医発第 1104 号（技術）
令和 4 年 9 月 8 日

都道府県医師会 会長 殿

公益社団法人日本医師会
会長 松本 吉郎
(公印省略)

解熱鎮痛剤の安定供給に向けた製薬団体の取り組みについて

時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

今般、日本製薬団体連合会会長、日本製薬工業協会会長及び日本ジェネリック製薬協会会長の連名にて、本職に対し、「解熱鎮痛剤の安定供給に向けた対応について」の送付がありました。

新型コロナウイルス感染症患者の増加によって解熱鎮痛剤の需要が高まり、アセトアミノフェン製剤及びその他の解熱鎮痛剤（イブプロフェン製剤やロキソプロフェン製剤等）の不足が生じていることを踏まえ、本会はこれら 3 団体会長に対し、関係会員各社に引き続き増産に努めていただくこと、医薬品の安定供給に向けた取り組みについて対応されるよう、強く要望いたしました（令和 4 年 8 月 29 日付け日医発第 1001 号（技術）にて貴会宛てに送付済み）。

この要望に対して、解熱鎮痛剤を製造販売する各社に対し周知徹底し、厚生労働省の指導も受けながら、増産に向け人員のシフト、製造ライン稼働率の最大化、委託製造先との増産協議等に鋭意取り組んでいるところであるとの回答を頂きました。また、対象薬に限らず医療用医薬品全般の供給状況の改善に向け、行政とも連携し引き続き取り組む旨についても示されています。

つきましては、貴会におかれましても本件に関してご了知いただきますとともに、貴会管下関係医療機関等への周知方につきご高配賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

本会といたしましては、先生方が円滑に診療へ取り組むことができるよう、医薬品の安定供給の確保のため、引き続き必要な対応に取り組んでまいります。

令和4年9月6日

公益社団法人日本医師会
会長 松本 吉郎 先生 侍史

日本製薬団体連合
会長 眞鍋 淳



日本製薬工業協
会長 岡田 安



日本ジェネリック製薬協会
会長 高田 浩樹



解熱鎮痛剤の安定供給に向けた対応について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症 第7波による全国的な感染拡大が続くなか、医療関係者の皆様ならびに感染症対策にご尽力頂いている関係の皆様による懸命な取組みに接し、心からの謝意を申し上げます。同時に、製薬団体ならびに医薬品を製造する各社は、感染症の急拡大という喫緊の事態において、今まさに果たすべき使命の重さを深く認識しております。

今般、松本会長より医療現場において解熱鎮痛剤が不足している状況に対する安定供給に向けた対応の要請を頂いたことを受け、各団体より解熱鎮痛剤を製造販売する各社に対し、周知徹底を行いました。解熱鎮痛剤につきましては、同製剤の製造販売承認を取得しております各社が厚生労働省の指導も受けながら、増産に向け人員のシフト、製造ライン稼働率の最大化、委託製造先との増産協議等に鋭意取り組んでいるところではあります。しかしながら、現時点でご要望に答えきれず、多くの薬剤が限定出荷となっている状況であること、団体としても事態を重く受け止めております。

こうした状況下ではありますが、対象薬を製造販売する各社への周知に加え、業界団体としても日本製薬工業協会、日本ジェネリック製薬協会双方の関係者が集う日薬連の安定確保委員会において、対象薬に限らず医療用医薬品全般の供給状況の改善に向け、行政とも連携し引き続き取り組んで参ります。

松本会長ならびに貴会の皆様におかれましては引続きご指導賜りたく、何卒宜しくお願い申し上げます。